

JAOS FUEL TANK GUARD Installation Instructions

Vehicle Application
SUZUKI JIMNY JB64/74 (18.07-)

このたびはJAOSタンクガードをお買い上げいただきありがとうございます。

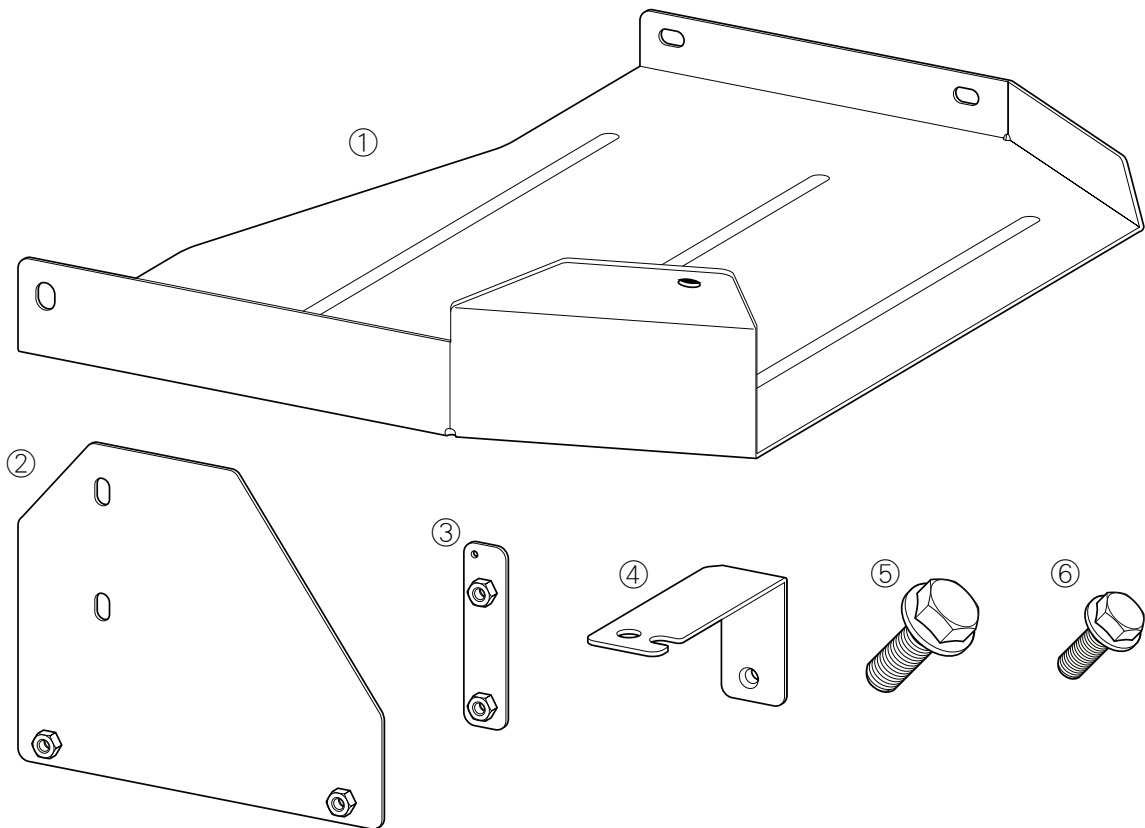
本書はタンクガードを取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

取付参考時間 INSTALLATION TIME		約1.0時間 1.0-hours	
作業難度 SKILL LEVEL	① パーツ交換/取付	Easy	必要工具 TOOL ボックスレンチ(HEX12,10) エクステンションバー(150mmほど) ガムテープ 糸(1mほど)
	② 車体加工あり	Moderately Easy	
	③ 専門知識が必要	Moderately Difficult	
	④ 分解整備	Difficult	

部品構成

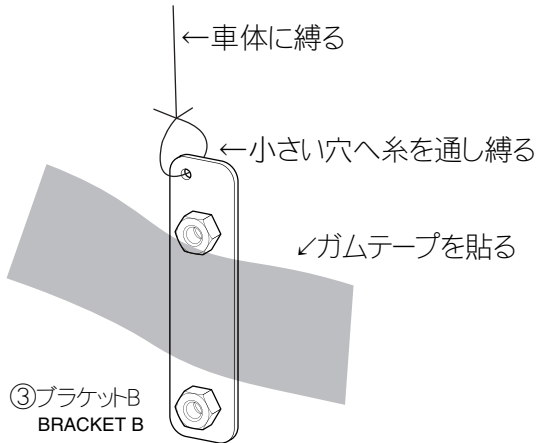


構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY	構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY
① タンクガード本体 FUEL TANK GUARD	1	④ ブラケットC BRACKET C	1
② ブラケットA BRACKET A	1	⑤ フランジ付ボルトM8-15 HEX.FLANGE BOLT	1
③ ブラケットB BRACKET B	1	⑥ フランジ付ボルトM6-10 HEX.FLANGE BOLT	4

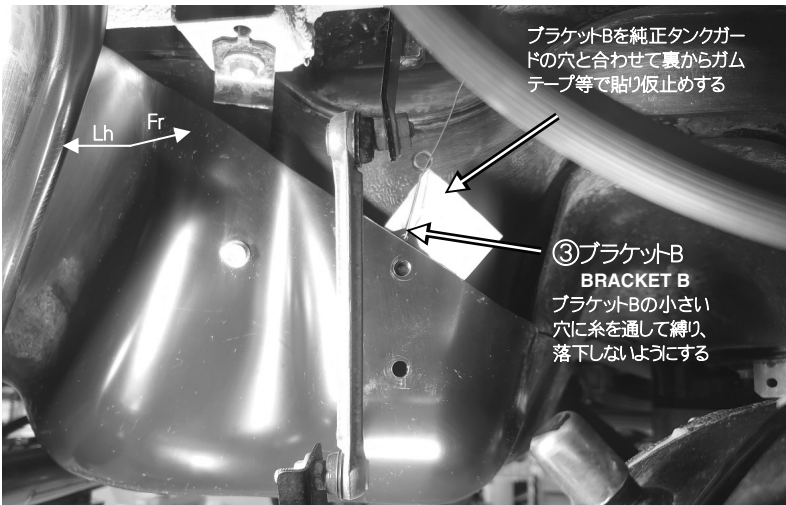
取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー、●数字は作業の順番を示しています。

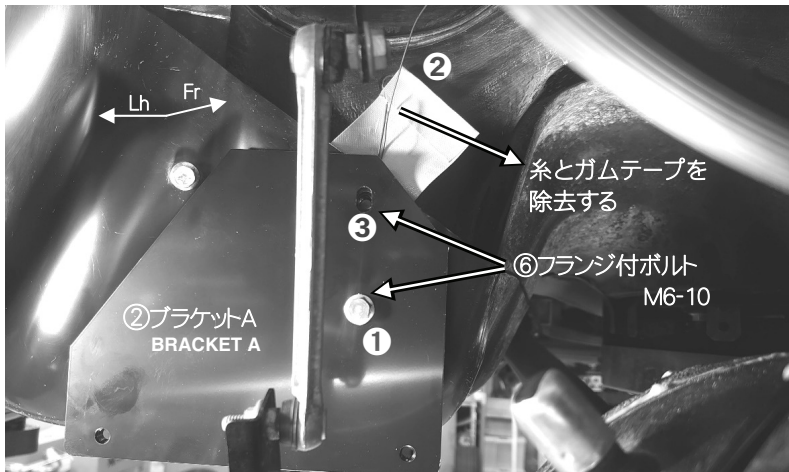
1. ブラケットA&Bを取り付けます。【図は燃料タンク後方】



- ・ブラケットB③の小さい穴へ糸などを通し縛ります。
- ・ガムテープなどをナット側に貼り付けます。



- ・純正タンクガード後方にあるサービスホール2点を利用します。ブラケットB③を純正タンクガードの穴と合わせて裏から貼り付けたガムテープ等で貼り仮止めします。
- ・糸を車体のホース等縛れる所に縛り、落下しないよう処置します。

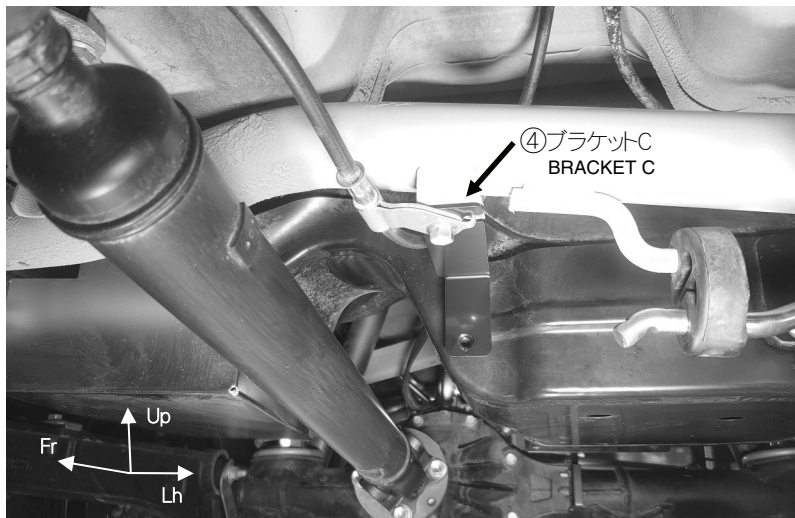


- ① ブラケットA②を2個の穴に合わせフランジ付ボルトM6-10⑥で下の穴を先に仮組みします。

👉アドバイス ボルトの増し締めは指示があるまでは行わないでください。
本書の「仮組み」とは、工具を使わず締めていき、脱落などは起きないが止めている物同士が多少動き、調整が出来る程度の固定を指します。

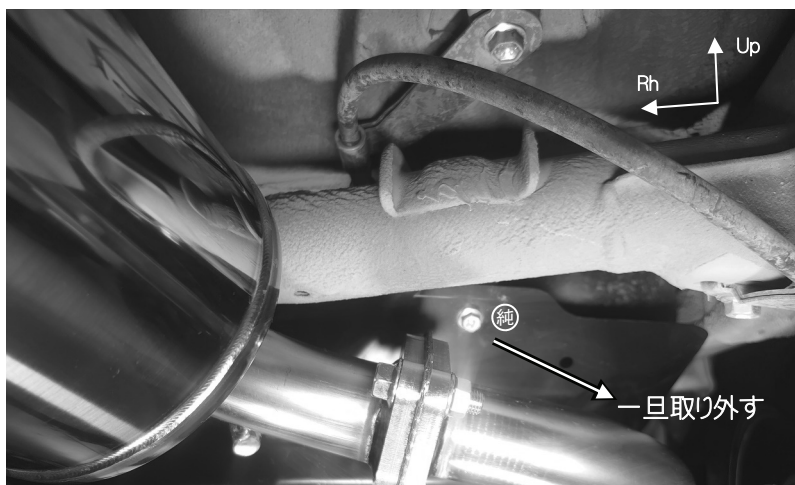
- ② 次に上の穴へフランジ付ボルトM6-10⑥をナットに2巻きほど噛むくらいに取り付け、貼り付けたガムテープと糸を取り外します。
- ③ 上の穴のフランジ付ボルトM6-10⑥を手締めで仮組みします。

2. ブラケットCを取り付けます。【図は燃料タンク運転席側前方】

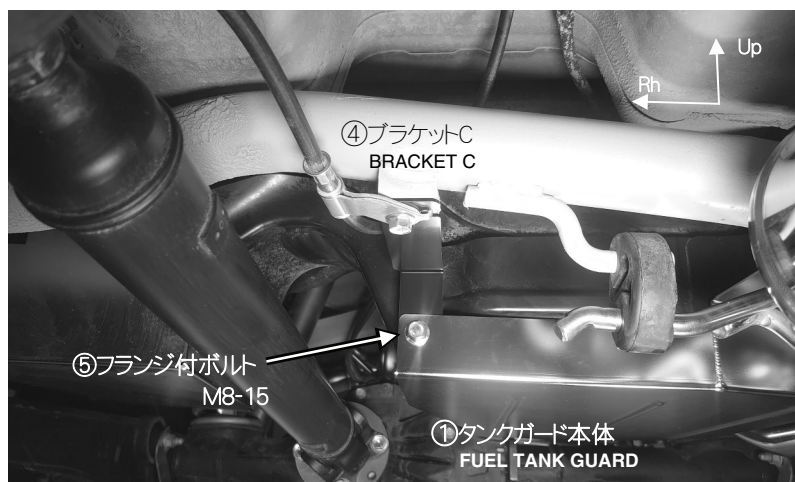


・プロペラシャフト横のサイドブレーキワイヤーを固定するブラケットを一旦取り外し、図の向きにブラケットC④を仮組みします。

3. タンクガード本体を取り付けます。【図は燃料タンク助手席側前方】



・純正タンクガードを留めている純正ボルトを一旦取り外しておきます。

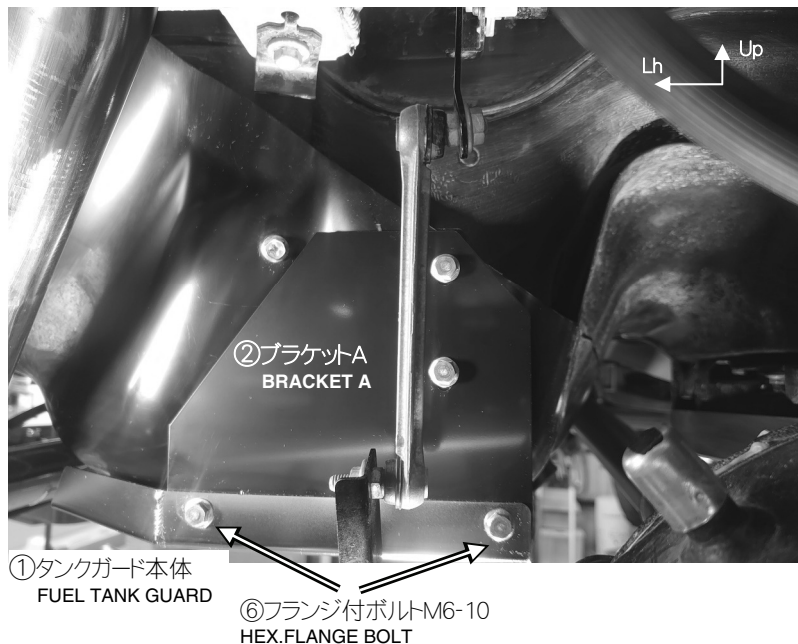


・ブラケットC④にタンクガード①をフランジ付ボルトM8-15⑤で仮組みします。



・取り外した純正ボルトを使い、タンクガード①と純正タンクガードを一緒に仮組みします。

3. タンクガード本体を取り付けます。のつぎ【図は燃料タンク後方】



・燃料タンク後方はタンクガード①をフランジ付ボルトM6-10⑥で2点を仮組みします。

・最後に取り付け位置や他の部品との干渉などチェックし、仮組みしたボルト類を増し締めします。

推奨締め付けトルク: ⑤フランジ付ボルトM8-15 10～13 N・m

⑥フランジ付ボルトM6-10 4～5 N・m

⚠注意 弊社推奨締め付けトルクは付属するボルトの材質や形状により最適化されています。同サイズでの他のボルトへの適用は避けてください。

装着状態の確認

⚠注意 装着後には必ず取付確認を行ってください。

ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。

- ・全体の組付けが完了したらタンクガードを揺さぶり、異音がしないかを確認してください。
- ・各ボルトの締め付け部をもう一度締め付け、増し締めされているかを確認してください。